

## 2019 Vol.1

- 01. 岡山を「Excite!」させるまちづくり
- 04. 青年会議所とは
- 06. 2018年度事業のご紹介
- 07. 2019年度実施予定事業のご紹介
- 08. 岡山青年会議所のアツイメンバーたち
- 09. メンバーオススメの飲食店

特別対談  
岡山を「Excite!」させるまちづくり

岡山市長  
大森雅夫



岡山青年会議所 第69代理事長  
古市聖一郎



homepage address

<https://www.okjc.org>



facebook

<https://www.facebook.com/okjc.org>

岡山JCではホームページでも情報を発信しております。事業や運動のご報告など随時更新しております。お気軽にホームページをご覧ください。 [岡山青年会議所](#) [検索](#)



発行日 平成31年1月  
発行 公益社団法人岡山青年会議所  
〒700-0985 岡山市北区厚生町3丁目1番15 岡山商工会議所ビル6階  
TEL 086-223-0938 FAX 086-225-0500 email info@jci-okayama.com  
発行責任者 公益社団法人岡山青年会議所  
岡山JCブランディング委員会  
委員長：綾部 健二郎  
青山 雅史・加藤 高明・津島 周史・大北 大士郎・蒲原 智樹・児島 都史  
妹尾 愛希・武元 浩・野田 龍太郎・馬場 紀行

次号は6月発行予定です。





公益社団法人岡山青年会議所の広報誌「暖流」をご覧いただきありがとうございます。青年会議所(JC)は全国に694あり、それぞれが住み暮らす「まち」がより良くなること、地域経済の活性化や地域が抱える問題解決などを目的に活動している、20歳から40歳までの青年経済人で構成される団体です。

岡山青年会議所は全国に数あるJCの中でも9番目に設立された歴史ある青年会議所として、岡山のまちを盛り上げたいという想いで活動しております。これまでも岡山の代名詞「うらじゃ」の運営や小学生の職業体験事業「キッズビジネスパーク」、旭川に桃型のボートを生み出した「どんぶらこプロジェクト」など多くの事業を実施してきました。

2019年、岡山市は市制施行130周年、政令指定都市10周年を迎えます。1月から始まる岡山青年会議所の2019年度は「Excite! okayama」をスローガンに掲げ、青年にしかできない発想で、おかやまに住む方々がわくわくできる事業を創造していきたいと考えております。2019年度の岡山青年会議所、そして我々の事業に一層のご理解とご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

公益社団法人岡山青年会議所 2019年度 第69代理事長

古市 聖一郎



岡山青年会議所の2019年度スローガン。誰もがわくわくするまちの実現のために、おかやまにしかない「らしさ」を発信し、青年らしい青年にしかできない発想力で創り上げたわくわくする事業を展開できるように。そして我々はもちろん、誰もがおかやまを好きになってくれるようにという願いを込めてこのスローガンを制定いたしました。英字のフォントを採用することで青年らしいスタイリッシュさやスマートさを出すとともに、揺れ動く文字でわくわく感や躍動感を表現しています。



大森雅夫  
岡山市長

特別対談  
SPECIAL TALK

岡山を「Excite!」させるまちづくり

大森雅夫市長の考える"岡山らしいまちづくり"や、岡山青年会議所の来年度事業についての考えやアドバイスなどを、余すことなく熱く語っていただきました。

古市聖一郎(以下、古市) まず昨年度は、平成30年7月豪雨で岡山市も大きな被害を受けました。災害はあってはならないことですが、現在も続いている復興を通じて、岡山市民の間で団結力や、一緒に前に進んでいこうとするエネルギーが高まったとも感じています。

また行政のサポートが非常に大きく、助かったという声を聴いています。市長は今回の豪雨災害を通して感じられたことはありますか。

大森雅夫(以下、大森) 経験したことのないような豪雨によって、岡山市も7700棟超の住宅が被害を受けました。豪雨発生時、市役所として全力で対応させていただいたつもりですが、振り返ってみると、もう少し早く、スムーズに対応できたのではないかと思います。

市役所職員も今までに経験したことのない事態で、やむを得ない所もあったのかもかもしれませんが、私はしっかりと反省をする必要があると思っています。また災害はあってはならないことだけれど、あるかもしれない「ことなかれ」から、地域の人が助け合う「共助」が大切になるのではないのでしょうか。大雨の被害直後という状況では、行政の力が及びにくいため、そうした場面で、どう助け合うのかを、地域の方々とも話していきたいと思っています。

古市聖一郎  
岡山青年会議所  
理事長



**古市** 私自身も恥ずかしながら、今回の豪雨災害で初めてボランティア活動をさせていただきました。

私たちも振り返ってみると、もともと岡山青年会議所として力になれることがあったのではないかと思います。二度と起きてほしくないですが、何かあった時には、岡山青年会議所として力になりたいと考えています。

**大森** そうですね。ボランティア活動も一日早く行うだけで、被災者の方々の気持ちと和らいでいくということもあります。どうスピーディーに対応してくのか、ということは私も今回の豪雨で反省しました。これから、岡山青年会議所さんとも一緒に協力していきたいですね。

### 他にはない「岡山らしさ」をまちづくりに反映する

**古市** 現在、岡山市は再開発ラッシュですが、なかでも岡山駅後楽園口の開発に注目しています。市長が発表で「岡山らしい金太郎館ではない駅前にした」とおっしゃられていたのですが、市長の考えられる「岡山らしさ」を、お聞かせいただけますか。

**大森** 今現在、岡山駅後楽園口から降りても、「ここが岡山」だとわからないですよ。そこにどう岡山らしさを加えるのかということがポイントにな

ると考えています。県外の方が岡山でイメージするのは、後楽園・桃太郎・桃・マスカット……です。そこで今回の再開発では、後楽園を駅前に再現するという案が出ています。岡山を象徴する後楽園がイメージされたものが駅前にあれば、「岡山に来たんだ」「岡山に帰ってきたんだ」と感じていただけるのではないかと考えています。

**古市** それは楽しみです。私たちもまさしく同じ考えで、昨年、大森市長にもご協力いただいた「どんぶらこプロジェクト」では、後楽園に桃の形のボートを浮かべるといって、青年会議所でしかできない、バカな発想を実現できました。バカな発想かもしれませんが、我々も本気でまちを変えたいと考えていて、イノベーションを起こすのは若者、バカ者、よそ者という精神を持ってやっていきたいと思っています。

またもう一つバカな発想ですが、大阪のおばちゃんってポケットに飴ちゃんが入っているイメージがあると思うのですが、その発想で、大森市長には、必ず会う人にきびだんごを渡していただいて、岡山市長は常にきびだんごを持ち歩いているという都市伝説が生まれたらと思っていますので、ひとつご検討いただければ（笑）

**大森** わかりました（笑）  
**古市** 2019年の岡山青年会議所の

色んなアイデアを募ろうと考えているので、ぜひ市長にも審査員として来ていただけたらと思います。

### スポーツを応援することで市民の絆は深まっていく

**古市** もう一つの柱として、BMXで街を活性化できる方法を考えています。岡山市は様々なプロスポーツチームが活躍していますが、市長はスポーツとの関わり合いをどのように考えておられますか。

**大森** BMXはもちろん、それぞれのスポーツが活躍することによって、岡山が一つになることが重要だと思っています。

以前、フアジャーノ岡山がプレレオフに進出した際、パブリックビューイングで試合を見ていたのですが、そこ



活動予定をお伝えさせていただいたのですが、現在、二つの柱を掲げています。その一つが月見橋の架け替え運動です。昨年「どんぶらこプロジェクト」で、改めて感じたのですが、後楽園に架かる月見橋にもっと風情があれば、観光に来た県外の方、海外の方によりアピールできる観光地になると考えています。

**大森** ただ架け替えるだけではなく、今の月見橋をどう変化させるかを考えると、色んな選択肢が生まれるのではないのでしょうか。例えば桃のボートを浮かべただけでも、月見橋の見え方は変わったかもしれません。ただ架け替えるだけではなく、現実的に対応できるかどうかを、頭に置いて動いていただけると嬉しいですね。

**古市** 良いヒントをいただきました。ありがとうございます。現在、公募で

にハッピーだと思っています。

**古市** オリンピックの候補選手で、静岡生まれの方がいるのですが、岡山に住む代表監督の指導を受けるため、岡山に住民票を移して岡山市民として金メダルを取りたいというエピソードを聞くと応援したくなりますよね。

また現在、他県からも色々なラブコールを受けているみたいで、そういう状況を指をくわえてみてはいろいろなと感じています。来年はBMXを後押しできたらと思っていますので市長もよろしくお願いします。

では最後に岡山青年会議所にアドバイスをいただければと思うのですが。

**大森** 岡山青年会議所さんはよくやっておられると思います。古市さんが先ほど若者、バカ者、よそ者とおっしゃられていましたよね。本当にその通りでトガった発想を抜いてしまうと面白いから、どんどん仕掛けていって、「古市さん何をバカなことを……」と言われることをしたほうがいいんじゃないですか。

**古市** 「どんぶらこプロジェクト」の時に市長が、「こんな奇想天外なことが本当にできるのかなと思っていましたが、本当にやったからえらい！」と言っていたことが、最高の誉め言葉だなと思っています。

**大森** トガったほうがいいですよ。ぜひ今の路線で思い切りやってください。

## イノベーションを起こせるのは若者、バカ者、よそ者

Seichiro Furuichi 古市聖一郎

昭和54年11月、岡山市に生まれる。平成15年、日本大学商学部卒業後、株式会社トミヤコーポレーションに入社。平成22年同社代表取締役社長に就任し、現在に至る。平成26年、公益社団法人岡山青年会議所に入会し、平成29年リソース向上委員会理事委員長、平成30年専務理事を歴任し、平成31年より理事長。座右の銘は「道徳なき経済は罪悪であり 経済なき道徳は寝言である」



## トガった発想で面白いと思ったことをどんどん仕掛けてほしい

大森雅夫 Masao Omori

昭和29年2月、岡山市に生まれる。昭和52年、東京大学法学部卒業後、建設省に採用。昭和60年熊本県企画開発部企画課長、平成6年建設省大臣秘書官事務取扱、15年内閣府大臣官房会計課長兼内閣官房内閣参事官、20年内閣府政策統括官(防災担当)、24年国土交通省国土政策局長などの要職を歴任し、25年に退職。同年10月に岡山市長に就任し、現在2期目。座右の銘は「信なくば立たず」「天は自ら助くる者を助く」。





岡山青年会議所とは

全国に約700ある青年会議所の中で9番目にできた青年会議所です。20歳から40歳までの青年経済人が現在100名以上所属しており、おかやまに住み暮らす人々や子ども達の未来のために青少年育成事業、まちづくり事業、教育関連事業、行政支援事業など社会貢献活動を行っている団体です。

岡山青年会議所が過去に実施した事業



岡山駅構内への桃太郎像設置

1960年に岡山青年会議所10周年記念事業として岡山駅2Fコンコースに設置された桃太郎像。駅の大改良工事に伴い2007年に撤去されましたが、2017年に岡山駅1Fにオープンした「TARO's SQUARE」で見事に復活を遂げました。



OKAYAMAファンタジー点灯式

「岡山のまちを明るくしていこう」という趣旨で1986年にスタートした事業。今では「MOMOTAROH FANTASY」と名称を変え、岡山の冬を代表するイルミネーションイベントとして岡山駅東口広場・西口広場を彩り、県内外に岡山をPRしています。

青年会議所とは

「明るい豊かな社会」の実現を理想とし、次代の担い手たる責任感をもった20歳から40歳までの指導者たらんとする青年の団体です。

設立の歴史

自由な社会と経済発展を実現し、新しい社会をリードするにふさわしい人材育成を目的として、1915年にアメリカ・ミズーリ州セントルイスに生まれた小さな青年活動グループから始まったJC運動は、その活動が認められ、アメリカの社会的活動を担う主要な青年団体へと発展していきました。そして、1951年に「新しい日本の再建は我々青年の仕事である」という覚悟のもと日本青年会議所が設立されました。

世界に広がるJC

国際青年会議所 (Junior Chamber International) は、125カ国に2万人以上の会員で構成されており、積極的な市民になり、社会経済開発、国際協力、善意と理解への取り組みに参加することを奨励することを目的に運動を広げています。

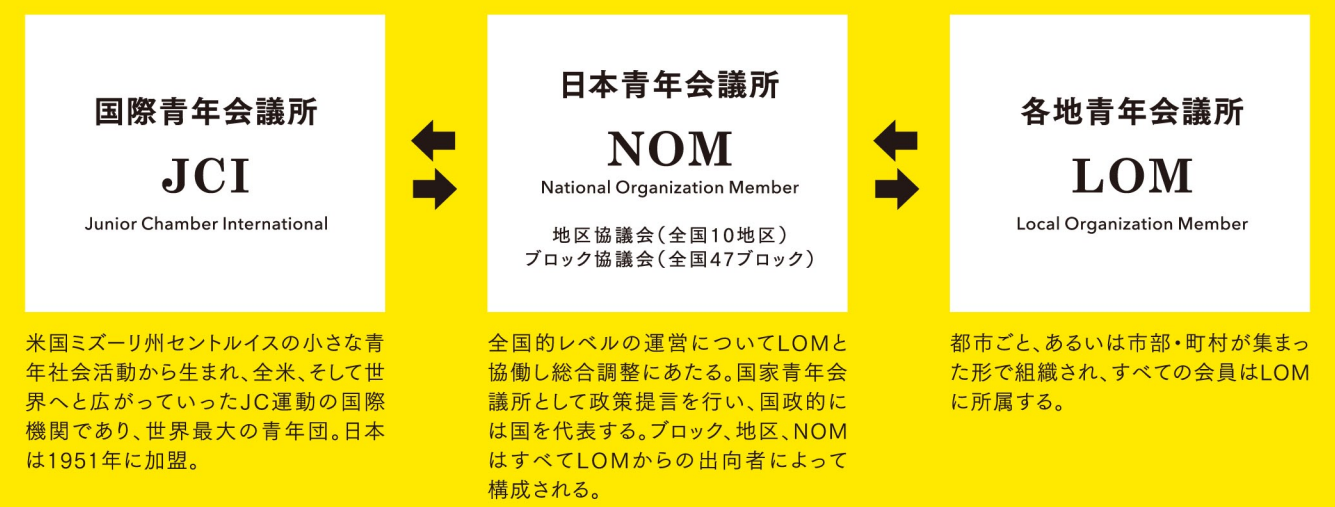
出身の著名人

- ◎安部晋三 ◎麻生太郎 ◎小泉純一郎 ◎小渕恵三
- ◎ジョン・F・ケネディ ◎ビル・ゲイツ ◎ビル・クリントン
- ◎チャールズ・リンドバーグ



JC運動の主体は常に「地域」です。

全国のメンバーが、自ら暮らすそれぞれの地域から、国を考え、世界を見つめています。





# PROJECT

| 2019年度実施予定事業 |

## 岡山JCブランディングプロジェクト

話題の「BMXフリースタイルパーク」で「BMXの聖地おかやま」を目指す



東京2020から正式種目となったことで注目を集めている自転車競技「BMXフリースタイルパーク」。競技を統括する国内競技連盟の本部である「全日本フリースタイルBMX連盟」は岡山市に拠点を置いており、女子日本代表選手も岡山に移住するなどさらに熱が高まっています。岡山青年会議所では2019年度、全日本フリースタイルBMX連盟と連携し、おかやまのまちをBMXの聖地としてブランディングするプロジェクトに取り組みます。「BMXの聖地おかやま」の発信や、岡山の子どもたちを対象とした体験型事業を実施する予定です。岡山青年会議所の新たなチャレンジにご期待ください。

Project **02**

※2019年度実施予定事業の内容等は変更となる場合がございます。  
※写真はイメージです。

## 月見橋バージョンアッププロジェクト

後楽園と岡山城を結ぶ「月見橋」をより良いものにするプロジェクト



1954年の岡山産業観光博覧会の開催に合わせて完成された月見橋。後楽園と岡山城を結ぶ橋として多くの方が利用されているものの、景観と調和しないという声もあがっているようです。そこで、これまで以上に市民から愛される月見橋にするためには何をすればいいのか、観光地としての価値をバージョンアップするためにはどうすればいいのかを検証し、そして月見橋を幅広く皆さんに知っていただく事業を実施する予定です。高校生、大学生、専門学校生を巻き込んだプロジェクトを予定しています。桃ボートの次は月見橋に着目し事業を計画して参ります。

Project **01**

2018年度実施事業

## 第25回うらじゃ

25周年を迎えた  
岡山の代名詞とも言える  
祭りの運営をサポート



8月4日・5日の2日間、第25回うらじゃが開催されました。岡山青年会議所はうらじゃを主催する団体の1つであり、毎年多くのメンバーが裏方として運営を支えています。例年以上の暑さが予想される中での開催となりましたが多くの方のサポートをいただき、大きな事故もなく無事に祭りを終えることができました。うらじゃ実行委員会およびうらじゃ振興会では被災地の復興に向け、災害義援金の募金箱を設置し、またグッズの販売売上の一部を災害義援金にあてさせていただきました。

2018年に  
実施した事業の  
一部をご紹介します！

## キッズビジネスパーク

1,000名の児童が参加する  
おかやま最大級の  
職業体験事業

9月24日、コンベックス岡山にて「キッズビジネスパーク2018～夢いっぱいのお仕事チャレンジ～」を開催させていただきました。小学校3年生～6年生の児童を対象とした職業体験事業も今回で4回目の開催となりました。子どもたちの働くことへの興味関心を高め、社会の成り立ちや関わりを学ぶことで将来の夢や自己実現に対し意欲を持つきっかけづくりを目的として実施いたしました。今後も岡山青年会議所では事業を通して健全な青少年育成を支えて参ります。



## どんぶらこプロジェクト

旭川に桃型のボート!?  
おかやまに新たな  
名所が誕生



10月8日、岡山の観光地である岡山城が見える旭川に桃型のボートを浮かべる「どんぶらこプロジェクト」のオープニングセレモニーを開催させていただきました。交通の要衝として確かな発展をしている岡山市ではあるものの観光的魅力が多いとは言えない現状を打破し、少しでも滞在時間を増やしおかやまの魅力を少しでも感じていただくことを目的に、旭川のswanボートの一部を桃型のボートにするという事業を実施いたしました。協賛企業様を中心に多くの方に支えられ、無事に3台の桃ボートを誕生させることができました。誕生以降、親子連れや観光客を中心にときには行列ができるほどの人気を博しています。SNSでの拡散や多くの地元メディアはもとより、海外メディアにも取り上げられるなど多くの共感と話題性を提供することができた事業となりました。





# My Favorite Restaurant

| メンバーオススメの飲食店 |



## 旬彩和庵 らくだ

rakuda

落ち着いたある雰囲気、旬を意識した料理と地酒を楽しむ「旬彩和庵 らくだ」。写真の『鯖の塩タタキ』は、真っ白で淡白な旬の鯖をシンプルに塩で味付けした一品。素材の旨味が引き出されており、抜群に相性がよいポン酢でサッパリいただけます。

- ◎岡山市北区平和町6-2有隣堂ビル1F
- ◎営業時間：17:00～00:00(ラストオーダー23:30)
- ◎定休日：日曜日
- ◎TEL.086-224-1477

「地元食材でつくる絶品料理と地酒が最高！」



瀬戸内造園株式会社  
専務取締役  
青木 浩平

毎日仕入れる季節を意識した、地元の新鮮な魚介類やお野菜の料理がおいしい青木直前理事長オススメの【旬彩和庵 らくだ】。「オープンした当初から通っています、いろいろな種類の料理が注文出来て、お酒が好きな自分にはピッタリ。地元の食材をつかった旬の料理と、岡山の銘柄でそろえられた40種類以上の日本酒との相性は抜群です」落ち着いた店内で、カウンターでの一人飲みから、個室でのデートや接待、大人数の宴会まで、幅広いシーンでゆったりと過ごすことができます、おすすめの一軒です。



# JCI OKAYAMA MEMBERS

| 岡山青年会議所のアツいメンバーたち |

JCI OKAYAMA MEMBERS 02



Naoki Igarashi

エヌエス日進株式会社 取締役

## 五十嵐 尚輝

### PROFILE

平成2年生まれの28歳。名城大学を卒業後、平成25年に愛知県にて就職。平成27年にエヌエス日進株式会社に入社し、現在に至る。

### JC入会のきっかけ

取引先からの紹介をきっかけにJCに興味を持ち、お話を聞く中で、異業種の経営層の集まりと聞き何か自己成長に繋がるのではないかと思入会。

### 会社について

昭和57年に創業し、岡山県を中心に総合建築物解体工事を行っている会社。常に継続的発展のできる技術者集団でありたいとの考えから敢えて「NewSkill」(新たな熟技)を社是として日々励んでいる。また「未来を拓くシゴト」をキャッチフレーズに、まちづくりの第一歩としてパトンを繋いでいる。

JCI OKAYAMA MEMBERS 01



Kazunori Suenaga

岡山トヨペット株式会社 代表取締役社長

## 末長 一範

### PROFILE

昭和54年生まれの39歳。日本大学卒業後、平成18年に岡山トヨペット株式会社に入社。常務取締役、副社長を経て29年代表取締役社長に就任し現在に至る。オカヤマアワードの副実行委員長も務めるなど岡山の発展に幅広く寄与している。

### JC入会のきっかけ

岡山トヨペットに入社した際から色々な人に入会を誘われていた。もともとまちづくりや地域貢献には興味があったことや、自己の成長を通して会社のプラスになればと思い、35歳になったことをきっかけに入会。

### 会社について

トヨタ自動車の車を販売する地元カーディーラー。「この街をもっと。」をキャッチフレーズに、交通事故ゼロプロジェクトやスポーツ大会、文化イベントなど、岡山を盛り上げるプロジェクトを積極的に展開。昭和31年設立。

## 新規メンバー 募集中

年齢・資格  
募集期間  
入会に際して必要なもの

私たち公益社団法人岡山青年会議所は、20歳から40歳までの次世代を担う若きリーダーが集う組織です。交流範囲の様々な人との「出会い」や「学び」、「成長」を繰り返します。地域社会や組織において、より優れたリーダーとなるための切磋琢磨を重ね、より豊かなまちづくりと人づくりを目指します。皆様もぜひ私たちと一緒に岡山青年会議所で、新たな可能性にチャレンジしましょう。

満20歳以上39歳以下の品格のある男女  
随時募集しております。詳しくは下記事務局までお電話にてご連絡ください。  
◎入会申込書(推薦者に署名と捺印をもらうこと)◎履歴書◎入会誓約書(推薦者に署名と捺印をもらうこと)  
◎入会承諾書 ◎作文 題目「岡山JC入会にあたって」※万年筆またはボールペンで、楷書で記入のこと※700字以上  
◎会社謄本※資格のみで正業に従事する場合は、資格証の写し ◎本人の住民票  
◎写真※縦4cm横3cm4枚(うち一枚は履歴書に貼付)※白黒写真ネクタイ着用・スピード写真不可

公益社団法人岡山青年会議所  
事務局

〒700-0985 岡山市北区厚生町3丁目1番15 岡山商工会議所ビル6階  
TEL 086-223-0938 FAX 086-225-0500 email info@jci-okayama.com